

赤色：課題や目標の変化、個別計画の整備方針を受けた見直し 緑色：昨年度収集した各課意見照会を受けた見直し

行	素案	考え方	備考
1	2 道路・交通の整備方針		
2	2-1 基本方針		
3	交流を促進する交通ネットワークの整備都市の交流促進や国土強靱化に寄与する交通ネットワークの整備		
4	都市間および及び各地域の連携・交流をの促進するとともに、と円滑な交通処理を図るため、体系的な交通ネットワークの整備を進めます。特に、都市ゾーンにおいては、各拠点を結び都市の活力と賑わいを創出する交通ネットワークの	・目標IV(3)を踏まえ、災害時の交通ネットワークに関する記載を追加する ※大村市国土強靱化計画(P26/国土保全、交通・物流分野)と整合する内容を記載	
5	形成を進めます。と、災害時の緊急輸送機能の軸となる交通ネットワークの整備を図ります。また、充実した高速交通体系を生活かし国内外の交流や各種産業の振興を図るため、各交通機能の利便性向上と連携強化を推進します。	・「都市づくり」は「まちづくり」に表現を統一する ・「生かす」は「活かす」に表現を統一する	
6			
7			
8			
9	公共交通を軸とした環境にやさしい交通体系の創出		
10	高齢社会への対応コンパクトで機能的なまちづくりの推進と環境負荷の軽減を図るため、公共交通サービスの向上に	・目標 I (1)を踏まえ、コンパクトなまちづくりに向けた公共交通体系に関する記載を追加する。	
11	努めます。加えて、地域の特性に合わせた交通ネットワークを整備するなど、自動車を過度に利用しない都市の拠点と公		
12	共交通が有機的に連携し、過度に自動車に依存することなく、快適に移動できる公共交通を軸とした環境にやさしい交		
13	通体系の創出を図ります。また、大村本市が持つ、平坦でまとまりある市街地の特性を生活かし、自転車交通と公共交通		
14	との連携に向けた取組を目指して取り組みます。		
15			
16	人にやさしい交通環境の整備		
17	子どもからお年寄りまで、全ての人が安全・快適に暮らせる都市まちづくりを進めるため、ユニバーサルデザインの	・将来都市構造図における拠点の位置づけの変化を踏まえ、拠点の記載を見直す	
18	理念に基づいた交通環境の整備を推進します。特に、都市中心拠点や地域生活拠点、地区拠点では、歩いて暮らせる		
19	まちづくりの実現に向けて、歩行者および及び自転車が主役の、人にやさしい交通環境の整備を図ります。		
20			
21	2-2 整備方針		
22	(1)道路		
23	①高規格幹線道路(長崎自動車道)		
24	○長崎自動車道については、長崎市や佐世保市など周辺都市との連携・交流や佐賀県、福岡県方面などとの広域交流		
25	を促進する道路として活用を進めます。		
26	○現在の木場パーキングにおいては、長崎県の医療拠点である長崎医療センターへのアクセスを高めるとともに、大村	・「木場スマートIC整備事業」については事業が既に完了のため、木場スマートICの有効活用の視点で記載を見直す	
27	市南部の観光、レジャー施設への集客力の向上を図るため、木場スマートIC(仮称)建設について関係機関と協議を		
28	進めます。木場スマートICの有効活用により、市南部の観光、レジャー施設への集客力の向上や災害時に交通ネット		
29	ワークの障害が発生しないようにアクセスの強化などを図ります。		
30			
31	②主要幹線道路		
32	○国道 34 号、国道 444 号、都市計画道路池田森園線などについては、都市間、市内各地域の連携・交流を担う主要幹	・都市計画道路池田森園線は整備率 100%のため削除し、新に国道 34 号に係る事業を追加する	
33	線道路として整備を推進します。そのため、国道 34 号大村諫早拡幅及び大村拡幅の事業など、慢性的な渋滞が発生		
34	する箇所については、総合的な観点から交通環境の改善に向けた取組を進めて取り組みます。		
35			
36			

行	素案	考え方	備考
1	③幹線道路・補助幹線道路		
2	○都市計画道路や県道については、市内各地域や拠点の連携・交流を促進する幹線道路として整備を進めます。		
3	○西九州新幹線の開業等による交通需要の変化などを踏まえ、坂口植松線などの都市計画道路の整備を進めます。また、事業実施が未定である都市計画道路については、計画の必要性や実現性の評価により、見直しを行います。	・都市計画道路について、整備の推進や計画の見直しに関する記載を追加する ※第5次大村市総合計画(P134/幹線道路の整備)と整合する内容を記載	
4			
5	○主要幹線道路と幹線道路を結び、市内の円滑な交通処理を図る補助幹線道路の整備を進めます。		
6	○国道34号を軸として、各幹線道路により東西を結ぶ道路網整備を進めます。東西を結ぶ各幹線道路を整備することにより、機能的な道路網を整備します。		
7			
8			
9	④その他(生活道路など)		
10	○地域の身近な道路については、住宅地内を通過する交通の排除および歩行者や自転車通行の安全に配慮した交通環境の確保に努めます。		
11	○都市の安全性を確保するため、緊急車両の通行やスムーズな車両の相互通行ができるように狭い道路の改善を進めます。	・第5次大村市総合計画(P134 生活道路の整備)を踏まえ、長寿命化計画に関する記載を追加する、また、「おおむら道路里親制度」等を通じたボランティアによる道路管理と美化活動の推進を追加する	
12			
13	○長寿命化計画に基づき、道路施設の適切な維持管理に努めます。また、市道の一部については、「おおむら道路里親制度」(アダプトプログラム)を通じて、ボランティアによる道路の管理と美化活動を推進します。		
14			
15			
16			
17	(2)公共交通		
18	①高速交通		
19	○県や関係団体と連携し、空の玄関口である長崎空港は、国や長崎県および関係機関との調整のもと、国内・国際路線の拡充や物流機能の強化について検討します。推進するとともに、長崎空港の24時間化の実現に向けて、国や県に要望していきます。	・第5次大村市総合計画(P135 長崎空港の利便性向上及び機能強化)を踏まえ、長崎空港24時間化に向けた取組に関する記載を追加する	
20			
21			
22	○新たな交流の創出が期待される西九州新幹線西九州ルート(長崎ルート)については、開業に向けて関係機関や関係自治体との連携強化を図りながら、「大村市新幹線開業アクションプラン」に基づき、早期開業に向けた事業の促進や地域振興に向けた取組を進めます。また、令和4年秋の西九州新幹線の対面乗換方式による開業は、あくまでも暫定的なものであるため、大幅な時間短縮効果等による交流人口の拡大をはじめとする多くのメリットが期待される武雄温泉～新鳥栖間の全線フル規格による整備の実現を目指します。	・各課意見照会の内容(大村市新幹線開業アクションプランに基づく取組の推進)を反映する ・武雄温泉～新鳥栖間の全線フル規格による整備に関する記載を追加する	
23			
24			
25			
26			
27			
28	②鉄道		
29	○生活の足としての機能を確保するため、利便性向上に向けた施策・支援の充実を図ります。		
30	○新幹線新大村駅(仮称)西九州新幹線の開業にあたり、在来線への乗り換え利便性を高めるため、新駅設置の可能性について検討します。土地区画整理事業等を推進し、新大村駅東口及び西口における駅前広場等の整備を進めます。	・新大村駅周辺土地区画整理事業に関する記載を追加する	
31			
32			
33			
34			
35			
36			

行	素案	考え方	備考
1	③バス		
2	○「大村市地域公共交通網形成計画」や「大村市地域公共交通再編実施計画」に基づき、市街地を運行する路線バスの運行間隔の短縮や、郊外の移動手段の見直しによる利便性向上、新幹線開業に合わせたバス路線の新設・既存路線の見直しを進めます。	・「大村市地域公共交通再編実施計画」を踏まえ、市内のバス路線の運行等に関する記載を見直す	
3			
4			
5	○高齢者をはじめ自動車を運転しない人の移動手段を確保するため、バスサービスの向上を図ります。	・新規文章に含むため削除する。	
6	○路線バスに加え、市内循環バスの適正運行により、利便性の高いバス路線網の構築を図ります。また、バス相互の乗り継ぎやJRからの乗り換えが円滑に進むよう、必要に応じて交通結節点機能の向上を図ります。	・新規文章に含むため削除する。	
7			
8	○広域交通を支える高速路線バスについては、既存路線の維持や更なる利便性の向上を図ります。		
9			
10	④その他		
11	○山間部をはじめとする公共交通の空白地域の解消や高齢社会に対応した身近な公共交通の確保に向けてのため、市民・事業者等・市との連携のもと、コミュニティバス、乗り合いタクシー等の導入について検討します。乗合タクシーの充実を図ります。	・現在、一部地区で乗合タクシーは導入済みである。公共交通の空白地域において今後更なる充実を図る旨を追記する。	
12			
13			
14			
15	(3)歩行者・自転車		
16	①人にやさしい交通環境		
17	○歩行者や自転車が安全で快適に通行できるよう、各幹線道路を軸に、歩道、自転車道の整備を進めます。		
18	○歩道や自転車道の整備に合わせて、交通安全施設の整備や交通安全対策を行うことで、人にやさしい交通環境の整備を推進します。特に、通学路においては、地域住民や警察など関係機関との連携を図りながら、安全な交通環境の整備に努めます。		
19			
20			
21			
22	②歩行者		
23	○ユニバーサルデザインの理念に基づき、安全に安心して利用できる歩行者空間の整備を推進します。		
24	○都市中心拠点や地域生活拠点、 地区拠点 、上小路地区周辺では、回遊性の向上に向けて、駐車場・駐輪場、公園の配置や景観に配慮した街なみ整備を進めるなど、まちづくりと一体となった歩行者ネットワークの整備に努めます。		
25			
26			
27	③自転車		
28	○環境にやさしいまちづくりの推進、コンパクトな市街地形成における交通手段として、自転車利用の促進に向けた取組を進めます。		
29			
30	○「大村市自転車活用推進計画」に基づき、自転車を安全に快適に利用するための環境整備とともに、観光振興や市民の健康増進、環境負荷の低減に向けた自転車の活用を推進します。	・「大村市自転車活用推進計画」を踏まえ、自転車を利用するための環境整備や自転車の活用に関する記載を追加する	
31			
32	○交通安全に関する講習会や自転車安全利用推進街頭キャンペーンなど、自転車利用に関するマナーの啓発活動を実施し、自転車と歩行者が共存する仕組みについて検討します。	・各課意見照会の内容から、実施中の取組内容を追記し分かりやすい内容とする	
33			
34			
35			
36			

行	素案	考え方	備考
1	(4)その他		
2	①駐車場・駐輪場		
3	○各都市機能が集積するJR大村駅周辺都市拠点においては、円滑な道路交通を確保するため、駐車場の整備と適正	・各課意見照会の内容を踏まえ、駐車場の運営・維持管理に関する記載を追加する	
4	な運営・維持管理を図り進めます。特に中心市街地活性化の観点から、回遊性の向上や歩行者の安全性を確保する		
5	ため、適正な配置を図り検討します。		
6	○自転車利用を促進するとともに、歩行者や自動車の通行機能の確保やまちの美観を維持するため、駅周辺において		
7	駐輪場の整備を進めます。		
8	○環境にやさしい交通体系の検討に合わせて、バスと自転車の乗り継ぎ拠点において、駐輪場の確保に努めます。		
9			
10	②交通結節点		
11	○JR駅周辺や大村IC周辺をはじめ、異なる交通の乗り換えが円滑に進むよう交通結節点の利便性向上を図ります。そ		
12	のため、ユニバーサルデザインに配慮し、駐輪場・駐車場やアクセス道路の整備を進めます。		
13	○JR駅をはじめとする交通結節点が地域の拠点となることから、都市景観の創出や地域の活性化に向けた取組など、周		
14	辺を含め一体的なまちづくりを検討します。		
15			
16			
17			
18			
19			
20			
21			
22			
23			
24			
25			
26			
27			
28			
29			
30			
31			
32			
33			
34			
35			
36			

行	素案	考え方	備考																								
<p>1</p> <p>2</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>6</p> <p>7</p> <p>8</p> <p>9</p> <p>10</p> <p>11</p> <p>12</p> <p>13</p> <p>14</p> <p>15</p> <p>16</p> <p>17</p> <p>18</p> <p>19</p> <p>20</p> <p>21</p> <p>22</p> <p>23</p> <p>24</p> <p>25</p> <p>26</p> <p>27</p> <p>28</p> <p>29</p> <p>30</p> <p>31</p> <p>32</p> <p>33</p> <p>34</p> <p>35</p> <p>36</p>	<p>■道路の整備方針図</p> <p>凡例</p> <table border="1" data-bbox="281 1606 593 1837"> <tr><td>その他道路</td><td>——</td></tr> <tr><td>西九州新幹線</td><td>——</td></tr> <tr><td>JR大村線</td><td>——</td></tr> <tr><td>長崎自動車道</td><td>——</td></tr> <tr><td>河川</td><td>——</td></tr> <tr><td>行政界</td><td>——</td></tr> <tr><td>都市計画区域界</td><td>——</td></tr> </table> <p>凡例</p> <table border="1" data-bbox="608 1669 920 1837"> <tr><td>主要幹線道路</td><td>——</td></tr> <tr><td>幹線道路(整備済)</td><td>——</td></tr> <tr><td>幹線道路(未整備)</td><td>——</td></tr> <tr><td>補助幹線道路(整備済)</td><td>——</td></tr> <tr><td>補助幹線道路(未整備)</td><td>——</td></tr> </table> <p>※令和3年3月末現在</p>	その他道路	——	西九州新幹線	——	JR大村線	——	長崎自動車道	——	河川	——	行政界	——	都市計画区域界	——	主要幹線道路	——	幹線道路(整備済)	——	幹線道路(未整備)	——	補助幹線道路(整備済)	——	補助幹線道路(未整備)	——	<p>・主要施設名称の統一を図る(新大村駅、大村車両基地駅、木場スマートIC)</p> <p>・都市計画道路・坂口植松線(H28に都市計画決定)を幹線道路として追加する</p> <p>・各種道路の整備状況を見直す</p> <p>(都) 富の原鬼橋線は平成26年度事業完了</p> <p>(都) 池田沖田線は令和3年度事業完了予定</p> <p>※令和3年度までに事業完了予定の道路は「整備済」として表記</p> <div data-bbox="1834 541 2347 657" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>今年度末の都市計画道路の見直し結果を反映したものに最終的に差し替え予定</p> </div>	
その他道路	——																										
西九州新幹線	——																										
JR大村線	——																										
長崎自動車道	——																										
河川	——																										
行政界	——																										
都市計画区域界	——																										
主要幹線道路	——																										
幹線道路(整備済)	——																										
幹線道路(未整備)	——																										
補助幹線道路(整備済)	——																										
補助幹線道路(未整備)	——																										